

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
E111C018		音楽(小) (School Music (Elementary School))							対面					
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	1	教育学部 令和2年度 以降入学生用	後期	月4	日本語		オムニバス、クラス分け						
担当教員	氏名 松田 聡													
	E-mail matsat@oita-u.ac.jp 内線 7616													
授業の概要	小学校音楽科の教科書に記されている内容について理解し、小学校教員に必要な音楽の各領域の基本的な知識と技能を修得し、2年次の「音楽科指導法(小)」を受講する際の基礎とする。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	小学校教科書に記述されている音楽教科の基本的事項について説明できる。							○						
目標2	小学校の歌唱と器楽の、基礎的な技術と指導法について説明できる。							○						
目標3	小学校の音楽づくりの趣旨と基礎的な指導法について説明できる。							○						
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								10						
授業の内容														
1	ガイダンス(担当:松田聡)													
2	楽典の基礎:音の高さと長さ(担当:清水慶彦)													
3	楽典の基礎:音階と拍子(担当:清水慶彦)													
4	学習指導要領について(担当:松田聡)													
5	小学校での「音楽づくり」の活動について(担当:清水慶彦)													
6	歌唱の指導法(担当:栗栖由美子)													
7	歌唱の伴奏法(担当:田中星治)													
8	リコーダーの指導法(担当:松田聡)													
9														
10														
11														
12														
13														
14														
15														
ラーニングコンテイング	A:知識の定着・確認	○	授業時の音楽実践等により、知識や技能の習得状況を確認する。				工 そ 夫 の 他 の							
	B:意見の表現・交換													
	C:応用志向													
	D:知識の活用・創造													
授業時間外学修と想定時間	準備学修	次回の内容に関する自身の知識を確認しておく(13h)。												
	事後学修	各回の内容を振り返る(10h)。												
	想定時間合計	23												
教科書	教育芸術社『小学生の音楽』(小学校1~6年生)ISBN978-4-87788-816-9、SBN978-4-87788-817-6、SBN978-4-87788-818-3、SBN978-4-87788-819-0、SBN978-4-87788-820-6、SBN978-4-87788-821-3													
参考書	『小学校学習指導要領』(平成29年7月 文部科学省)ISBN978-491-03460-7、『小学校学習指導要領解説 音楽編』(平成29年7月 文部科学省)ISBN978-491-03465-2													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	授業への参加度		40%	○	○	○							
	試験		60%	○	○	○							
			全授業回の3分の1以上を欠席した場合や試験が未受験だった場合は単位を認めない。										
注意事項	・初回到講義の履修に関する基本的な説明をするので、受講希望者は必ず出席すること。												
備考	なし												
リンク													
	URL												